

御製 五首

平成三年

春

中庭の白紅の梅咲きてみやわざの日は春の気満つる

雲仙岳噴火

人々の年月かけて作り来しなりはひの地に灰厚く積む

旅先に台風の報を聞く

台風に故国の人命失せしことタイの地にして悲しくも聞く

タイ、マレーシア、インドネシア三ヶ国訪問を終へて

旅終へて立ちし空港は雨にして訪ひ来し国の乾きを思ふ

オランダ国女王陛下を国賓としてお迎へして

若き日に知り親しみしオランダの君なつかしく迎へ語りぬ

第四十二回全国植樹祭

京都府

「ふれあいの森」育てむと集ひ来しあまたの人と苗植ゑにけり

第四十六回国民体育大会秋季大会

石川県

縄文の土器かたどりし炬火台に火はあかあかと燃え盛りけり

第十一回全国豊かな海づくり大会

愛知県

くるまえび豊浜漁港に放てれば青き深みに泳ぎ行きけり

皇后陛下御歌 三首

平成三年

立太子礼

赤玉の緒^きさへ光りて日嗣^{ひつぎ}なる皇子^{みこ}とし立たす春をことほぐ

多磨全生園を訪ふ

めしひつつ住む人多きこの園に風運びこよ木の香^か花の香

雲仙の人々を思ひて

火を噴ける山近き人ら鳥渡るこの秋の日日安^{やす}からずぬむ